

# 妊娠中の検査について

## ■妊婦健診について

妊婦検診受付は土、日、休日を除く毎日に受け付けています。ただし火曜日と木曜日は手術日ですのでなるべく月・水・金曜日に受診していただくようにお願いします。急病の場合は午後・夜間でもうけています。

妊婦検診は妊娠 22 週までは4週間に1回、妊娠 23 週からは2週間に1回、36 週(10ヶ月)に入ったら1週間に1回の頻度で健診をしています。

## ■妊娠中の検査について

体重、血圧、体の浮腫と尿の蛋白・糖は毎回検査します。



## ○超音波検査

超音波断層装置で胎児を診察します。この検査は分娩予定日の決定、胎児の成長の評価や異常の有無・胎盤・羊水などの検査に非常に有用なので、当院では毎回の妊婦健診時に施行しています。

## ○血液の検査

貧血、梅毒、血液型などの他にウイルス感染症の検査として、風疹抗体、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、AIDS(HIV)、成人T細胞白血病(ATL)などの検査を行います。その他、希望や必要に応じて検査を行っています。

## ○B群溶連菌(GBS)

B群溶血性連鎖球菌は日本では10~20%くらいの人体内にいます。稀ではありますが、お産の前後に赤ちゃんにこの細菌が感染して、重篤な症状を引き起こすことがあります。感染を防御するために、妊娠末期近くにこの細菌の検査を行っています。細菌が検出された場合には出産時に感染防止の対処と検査をします。

## ○ノンストレステスト

胎児の心拍数変化、胎動、子宮の収縮などを一定の時間の間の記録を検討して胎内の赤ちゃんが元気であるかどうかを調べる検査です。主として妊娠中期以降に必要なに応じて実施しています。お産で入院した妊婦さんにはすべての方に実施しています。

